

【5/10.5/17 医療職 質問への回答】

仕事に関すること

Q1 岩手県立療育センターに入所できるのは、入所は18歳までと説明がありましたが、その後はどのように支援をしていくのですか。

退所してご自宅に戻る方や、別の病院へ入院する方がいるなど、さまざまです。また、入所をやめて、自宅から施設に通う方もいます。利用者や家族の希望する生活を丁寧に聞き取り、多職種と連携しながら、進路や必要な支援について考えています。

Q2 看護業務(処置)の中で、ルート確保や採血の業務はあるのでしょうか。

看護師が行う場合と、難しい場合には医師が行う場合もあります。採血は毎日ではなく、定期採血や体調不良時などに行っていますので、通常の病院と比較すると回数は少ないです。

指導や研修に関すること

Q3 新採用として入職した際に、上司や先輩職員と相談しやすい環境でしょうか。また、こういったサポートがあるのでしょうか。

指導についてはプリセプター制度があり、新採用職員は主に担当のプリセプターから指導を受けます。プリセプターだけでなく、他の先輩職員にも質問しやすい環境が整っています。
職務において障がい児の主な疾患など、専門的な病名や専門用語も知識として必要になりますが、事前に先輩から学習するポイントについてなど、わかりやすくアドバイスしてもらえます。

Q4 2年目以降の研修はどのようなものが準備されていますか？

業務の中でのOJTはもちろん、法人本部で準備している社会福祉研修、各職制に合わせた職制別研修など、多岐にわたる研修を準備しています。

医療職を対象とした、外部の専門的な研修にも、積極的に職員を派遣しております。

福利厚生に関すること

Q5 お休みは希望すれば取れますか？

休みの希望は上司に申し出ていただき、必要に応じて調整する場合があります。
仕事柄、チームでの支援のため、休む日は他の職員がカバーすることになります。出来るだけ早めに申し出て頂きたいと思います。
なお、当事業団では時間単位での休暇取得もできるほか、夏季休暇(5日間)、病気休暇といった特別休暇も取得できます。詳しくは受験案内を参照してください。

先輩職員への質問

Q6 1年目ではどのような業務を経験しましたか。

最初の1か月は研修を受けたり、病棟内の動きを覚えてもらったり、プリセプターに教えてもらいながら、夜勤業務にも徐々に入りました。プリセプターがいつも同じ勤務になるわけではなかったのですが、他の先輩職員に声をかけてもらえたり、質問も聞きやすく安心して働くことができました。

Q7 勤務体制について、実際にシフトがどのように組まれて勤務しているのか例を教えてください。

実際の勤務シフトを踏まえて説明いたします。深夜→深夜→日勤→休み→休み→日勤→日勤→準夜→準夜→休み…という勤務例となります。原則として、夜勤と夜勤の間は、4日間空けることとしています。